



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	5,614	37.7	2,386	29.8	346	0.3	565	30.4
2024年9月期第1四半期	4,077	37.0	1,839	31.7	346	53.6	433	54.6

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 175百万円 (△18.9%) 2024年9月期第1四半期 216百万円 (28.5%)

	経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
2025年9月期第1四半期	350	△1.6	171	△19.7	10.88		10.77	
2024年9月期第1四半期	356	62.1	213	43.0	13.78		13.66	

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
2025年9月期第1四半期	17,447		7,268		38.9	
2024年9月期	13,537		7,304		50.8	

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 6,790百万円 2024年9月期 6,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年9月期	—	—	—	—	—
2025年9月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	22,247	30.0	9,808	25.0	1,608	20.0	2,351	35.0	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 2社 (社名) 株式会社インゲート、株式会社CLOCK・IT、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年9月期1Q	15,785,759株	2024年9月期	15,753,559株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	185株	2024年9月期	169株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年9月期1Q	15,779,028株	2024年9月期1Q	15,517,762株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、個人消費等の持ち直しの動きが見られ、緩やかに回復しています。一方で、海外での紛争や資源価格の高騰、物価上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、構造的な人手不足の深刻化の影響を受け、企業は人材確保の課題に直面しています。こうした背景から業務効率化に迫られており、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進やAIの活用に関する需要が拡大しています。一方、個人の働き方においては、従来の終身雇用・年功序列を主とした労働構造に変化が見られ、自立的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方が加速しています。政府としても、フリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」を2024年11月に施行しました。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。昨今の状況は当社グループにとって追い風であり、2024年12月末時点で登録ユーザー数は686.8万人（前年同期比+80.6万人）、登録クライアント数は102.1万社（前年同期比+6.5万社）となりました。また、中期経営目標

「YOSHIDA300」において掲げる、売上高300億円、EBITDA（Non-GAAP）25億円、営業利益成長率+10%以上（通期）の実現に向け、既存事業の成長並びにSaaS事業を含む新規事業の拡大、M&Aに引き続き注力してまいります。

既存事業の軸であるマッチング事業においては、コンサルティングを元に経営課題を特定したうえで、IT人材やプロジェクトマネージャーを活用した業務改善チームを組成するDXソリューションの提供を本格的に推進し、企業の生産性を向上してまいります。また、当社事業間の営業顧客連携データベースを強化し、クロスセルを通じた社当たり単価向上に努めています。

ビジネス向けSaaS事業においては、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が大企業や成長企業を中心に進んでいます。また、入力された従業員の工数データを元に、当社コンサルティングチームが、従業員が行う必要のないノンコア業務を特定し、アウトソーシングやDX化を促す提案も行ってまいります。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びビジネス向けSaaS事業との親和性が高い事業への投資について、規律をもって進めています。2024年11月に、DX人材紹介・採用支援・キャリアカウンセリング事業、ITソリューション事業を展開する株式会社インゲートと、DXプロジェクトの一括請負、エンジニア・デザイナーの常駐支援サービス（準委任・SES）を提供する株式会社CLOCK・ITを子会社化いたしました。同2社および2024年7月に子会社化した株式会社ソニックムーブが持つDX推進の知見を、DXソリューションとして顧客に提案いたします。また、グループイン企業のPMIは順調に推移しており、全社の成長に貢献しています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は5,614,716千円（前年同期比37.7%増）、売上総利益は2,386,919千円（前年同期比29.8%増）、営業利益は346,963千円（前年同期比0.3%増）、EBITDA（Non-GAAP）は565,761千円（前年同期比30.4%増）、経常利益は350,449千円（前年同期比1.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は171,623千円（前年同期比19.7%減）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は5,342,770千円（前年同期比36.6%増）、売上総利益は2,121,391千円（前年同期比26.5%増）、セグメント利益は351,739千円（前年同期比0.2%増）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は244,771千円（前年同期比69.9%増）、セグメント利益は20,354千円（前年同期のセグメント損失は23,517千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は17,447,019千円となり、対前期末比3,909,936千円増加いたしました。

流動資産は対前期末比で1,336,256千円の増加となり、その主な内訳は、現金及び預金が838,847千円、売掛金及び契約資産が471,206千円増加したものであります。固定資産は対前期末比で2,573,680千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが2,438,612千円増加したものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は10,178,518千円となり、対前期末比3,945,896千円増加いたしました。

流動負債は対前期末比で790,079千円の増加となり、その主な内訳は、短期借入金が311,215千円、未払金が483,979千円、株主優待引当金が115,950千円増加したものであります。固定負債は対前期末比で3,155,816千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金3,141,259千円増加したものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は7,268,500千円となり、対前期末比35,960千円減少しました。

純資産の減少の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益171,623千円及び剰余金の配当283,561千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,960,365	6,799,213
売掛金及び契約資産	1,607,772	2,078,978
未収入金	941,949	939,641
その他	344,016	379,859
貸倒引当金	△26,458	△33,789
流動資産合計	8,827,646	10,163,903
固定資産		
有形固定資産	43,575	43,248
無形固定資産		
のれん	2,081,229	4,519,842
その他	3,859	2,762
無形固定資産合計	2,085,088	4,522,604
投資その他の資産		
投資有価証券	1,952,023	1,933,929
その他	634,726	790,807
貸倒引当金	△5,978	△7,474
投資その他の資産合計	2,580,771	2,717,262
固定資産合計	4,709,436	7,283,116
資産合計	13,537,082	17,447,019
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,432,225	1,743,440
未払金	1,260,199	1,744,178
未払法人税等	318,412	201,644
契約負債	558,841	531,262
預り金	1,283,218	1,263,963
株主優待引当金	—	115,950
その他	681,558	724,096
流動負債合計	5,534,455	6,324,535
固定負債		
長期借入金	601,508	3,742,767
その他	96,658	111,216
固定負債合計	698,166	3,853,983
負債合計	6,232,622	10,178,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,784,693	2,798,765
資本剰余金	2,889,136	2,903,207
利益剰余金	1,165,598	1,053,660
自己株式	△237	△262
株主資本合計	6,839,190	6,755,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,412	34,637
その他の包括利益累計額合計	40,412	34,637
新株予約権	316,241	359,787
非支配株主持分	108,616	118,705
純資産合計	7,304,460	7,268,500
負債純資産合計	13,537,082	17,447,019

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	4,077,806	5,614,716
売上原価	2,238,289	3,227,797
売上総利益	1,839,516	2,386,919
販売費及び一般管理費	1,493,422	2,039,955
営業利益	346,094	346,963
営業外収益		
預り金失効益	17,871	16,375
保険解約返戻金	—	23,834
為替差益	—	20,605
その他	3,207	4,705
営業外収益合計	21,078	65,521
営業外費用		
支払利息	1,646	11,640
持分法による投資損失	—	7,560
支払手数料	—	37,968
その他	9,259	4,865
営業外費用合計	10,906	62,034
経常利益	356,267	350,449
特別利益		
新株予約権戻入益	11,438	778
特別利益合計	11,438	778
税金等調整前四半期純利益	367,706	351,227
法人税等	151,006	169,516
四半期純利益	216,699	181,711
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,839	10,088
親会社株主に帰属する四半期純利益	213,860	171,623

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	216,699	181,711
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	△5,774
その他の包括利益合計	121	△5,774
四半期包括利益	216,820	175,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,981	165,848
非支配株主に係る四半期包括利益	2,839	10,088

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	570,113	6,650	576,763	—	—	576,763
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,341,875	137,366	3,479,242	4,618	—	3,483,860
顧客との契約から生じる収益	3,911,989	144,016	4,056,005	4,618	—	4,060,624
その他の収益	—	—	—	17,182	—	17,182
(1) 外部顧客への売上高	3,911,989	144,016	4,056,005	21,800	—	4,077,806
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52	52	—	△52	—
計	3,911,989	144,068	4,056,058	21,800	△52	4,077,806
セグメント利益又は損失(△)	351,174	△23,517	327,657	18,437	—	346,094

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては169,016千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自2024年10月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	538,749	3,900	542,649	22,422	—	565,071
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,803,530	240,713	5,044,244	5,400	—	5,049,644
顧客との契約から生じる収益	5,342,280	244,613	5,586,893	27,822	—	5,614,716
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	5,342,280	244,613	5,586,893	27,822	—	5,614,716
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	490	157	647	—	△647	—
計	5,342,770	244,771	5,587,541	27,822	△647	5,614,716
セグメント利益又は損失(△)	351,739	20,354	372,094	△25,130	—	346,963

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,001,831千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	7,814千円	30,838千円
のれん償却額	42,697千円	137,322千円